

広報

いちき 串木野

愛が いっぱいのまち

Ichikikushikino City
Public Relations



いちき串木野
明治維新
150周年



2018年1月22日発行

VOL.147

1
2018



スマホで見られる広報紙

マチイロ



1月3日新成人を祝うかのようによく晴れた日でした。

市民文化センターで開催された成人式には振袖やスーツ姿の新成人が229名が参加し、友人との再会を喜ぶ姿が見られました。

新成人の遠矢託人さんは「一人暮らしになって親のありがたさがわかった」と話し、屋久優香さんは「今まで育ててくれてありがとうと伝えたい」と親に感謝し「立派な大人になれるよう頑張る」と話しました。



成人式実行委員会

焼酎を飲んで未来のことを熱く語り合っ
て欲しいと、「爆発
ねったば会」から新
成人に焼酎が贈ら
れ、代表して実行委
員会が受け取った。



成人おめでとう

誓いの言葉

就職時や就職してからも応援してくれる人がいて感謝しています。
その応援に応えるためしっかりとしていきます。
今日の感激を胸に社会に貢献していきます。

新成人代表 鴨川敏哉



決意新たに 消防出初式

1月7日、市民文化センターで消防出初式が行われました。消防団員等378名、消防車両等22台の市長観覧で始まった出初式では、紅白のホースによる一斉放水や市来幼稚園児の規律訓練なども披露され、一年の無火災や市民の安心・安全を願いました。

消防本部 (☎32-0119)

平成30年いちき串木野市消防出初式表彰者

いちき串木野市長特別感謝状

中央仮設グループ会長 濱崎 一朗

消防庁長官表彰

永年勤続功労章	旭	分団長	竹之下直正
	本 浦	副分団長	小松 秀貴

日本消防協会会長表彰

勤 続 章 (30年以上)

川 上	副分団長	田 淵 幸広	湊	班 長	乗添 光雄
川 南	部 長	宇都 講治	羽 島	団 員	有村 育雄
川 南	班 長	小橋口幸生			

鹿児島県知事表彰

40年勤続章	川 南	分団長	西ノ園 隆
--------	-----	-----	-------

10年勤続章

川 北	団 員	新村 真	川 上	団 員	鹿丸 貢
川 上	団 員	宇都口和美	本 浦	団 員	中村 正也
川 上	団 員	有川 亨	羽 島	団 員	椿山 貴宏
川 北	団 員	池田 善之	荒 川	団 員	永 和則
川 北	団 員	津森 勇	川 上	団 員	田中 稔

鹿児島県消防協会総裁表彰

県協会功績章 (20年以上)	県協会精績章 (15年以上)
----------------	----------------

本 浦	班 長	上新 智彰	川 北	班 長	藤田 光昭
冠 岳	班 長	谷口多津夫	冠 岳	班 長	岩下 浩三
羽 島	班 長	岩下 市蔵	中 央	団 員	中野 徳夫
湊	班 長	大毛喜久男	旭	団 員	市来 栄光
川 上	班 長	永井 正規	羽 島	団 員	安藤 強
中 央	班 長	上屋 昭二	羽 島	団 員	中島 典幸
旭	団 員	三窪 正則	羽 島	団 員	坂口 雄介
旭	団 員	橋野 次也	冠 岳	団 員	藤脇 政盛

鹿児島県消防協会日置支部長表彰

15年勤続章	生 福	班 長	宇都 昭仁
	川 南	団 員	木場 俊介

いちき串木野市長表彰

10年勤続章

生 福	班 長	前屋 浩二	川 北	団 員	津森 勇
湊	団 員	田丸 隆之	川 上	団 員	鹿丸 貢
川 南	団 員	東 蒼士治	本 浦	団 員	中村 正也
川 南	団 員	萩原 徹	羽 島	団 員	椿山 貴宏
本 浦	団 員	羽根田 正	荒 川	団 員	永 和則
川 北	団 員	池田 善之	川 上	団 員	田中 稔

感謝状20年以上勤続団員の配偶者

上新 栄子	大毛むつ子	上屋 優子	橋野ミサ子
岩下みゆき	永井ます子	三窪かよ子	



寄贈された消防指揮車と寄贈者の中央仮設グループ会長濱崎一朗氏 (右から2人目)



消防庁長官表彰



市来幼稚園児は規律訓練で2列から4列になったり行進をしたりとかわいいながらもきびきびした動きを見せていました

西郷どん のあしあと

① 西郷隆盛の足跡

50センチほどの石のくぼみが足跡と伝えられています。写真は萬福池側から見たもので、手前がかかと、奥がつま先に見えます。

萬福池のほとりにある大きな石に、西郷隆盛がつけたと言われる足跡が残っています。

西郷は萬福池や浜中港の工事に携わったと言われており、当時20歳の西郷は郡方書役助という各地の田畑を見回る藩の役人でした。下級武士の家に生まれ、自らも田畑を耕していた西郷は、農家や漁家の苦勞を肌身で感じ、150年以上たった今でもしっかりと残る立派なものを作りました。当時の人々がどれほど感謝したかは想像に難しくなく、西郷の人柄から地域の人々にも慕われたのではないかと思います。

この西郷どんの足跡も、そうした西郷への感謝や人柄を偲び「足跡」という形にして後世に残したかったのかもしれない。



② 萬福池 (羽島)



農業用のため池として藩直轄の工事で1848年に完成しました。近くには西郷が泊ったとされる屋敷跡や井戸、手を洗った手水鉢が残されています。

また郷土史によるとこの時の工事が縁で、串木野駅前に胸像がある長谷場純孝の父、藤蔵と親しく付き合うようになり、子どもの純孝は西郷にとっても可愛がられたそうです。



③ 浜中港 玉石積みの防波堤

西郷隆盛が萬福池を建造したとき余ったお金や資材でつくったと言われています。

「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財100選」にも選ばれており、美しい佇まいを見せています。

まちひと 元風



大漁旗を世界に

亀崎染工(有)五代目 亀崎 昌大さん

2017年7月、フランスパリで開催されたJAPAN EXPOの会場で、亀崎昌大さんは、ミニ大漁旗の染体験を開きました。亀崎さんは大漁旗や五月幟、ハッピーなどを伝統的な印染めの技法で染め上げる老舗染物店の5代目です。

亀崎さんが出展したジャパンエキスポは日本の伝統芸能や武道、マンガ、ゲームなど広く日本の文化を紹介するイベントで、4日間の来場者は24万人にもなります。会場では染体験に夢中になる来場者の姿が見られたといいます。

常々世界に大漁旗を広めたいと考えていた亀崎さんは、海外に大漁旗を紹介するなら最初は欧米でと考えていました。

理由は「評価の逆輸入」です。

亀崎さんが受け継ぐボカシなど印染めの技法は機械には出せないものだそうです。亀崎さんはコストを減らせるといった機械化のメリットは認めながらも

機械と手作業の領域は区別すべきと考えています。特に贈り主の思いが込められる五月幟や大漁旗は「機械製品もあるけど、人の喜びに寄り添うモノだから、手染めで気持ちを込めて作りたい」との思いがあります。

一方で、市場が縮小し、安いものを何にでも求める今の日本は、伝統工芸品が正しい評価を受ける機会が少なくなってきたとも感じています。そのことは伝統工芸に関わる人たちの生活基盤を脅かし、職人の減少を招くだけでなく、守ってきた技術が支えてきた文化の継承をも困難にすることを意味します。染の伝統を高める努力をせずに機械化に走ったり、仕事を欲しいがために安易に価格を下げたりして、傾いていった同業者も見られました。

こうしたことが「職人としての誇りを失いたくない」と、正当な評価を求める足掛かりとしてヨーロッパを今回選んだので

す。

亀崎さんのこの行動は伝統や歴史を重んじるフランス人の目にとまります。染体験の様子がジャパントッチという同様の日本文化を紹介するイベント関係者の目にとまり、亀崎さんは12月に招待を受けました。

亀崎さんの染体験会はここでも好評で、今年秋には同国のトゥーロンという港町で開かれる予定の明治維新150周年記念イベントで、現地の漁船に大漁旗を付けることも決まりました。

こうした結果について亀崎さんは「本物の価値を理解してもらえた」と手ごたえを感じています。

「今はまだ種をまき始めたばかり。道は始まったばかりですよ」と亀崎さんは話します。

いつか大漁旗を付けた船がヨーロッパでの「評価」を乗せ、日本に凱旋するまで亀崎さんの挑戦は続きます。

まちの話題

今日はママが主役の交流会楽しむ



12月15日まちなかサロンで「ママ交流会」が開かれ、子育て中の親子など約20名が参加しました。

これは女性5人で作る「FemStyle」が、「育児中のお母さんたちが気軽に子どもと一緒に休める場を作ろう」と、自身も育児中の石神華英さんが呼びかけて初めて開催したものです。

石神さんは県外から本市に移り住んできました。最初は市内の事情がわからず、「小児病院や買い物の場所、自分が体調崩したら子どもはどこに預けよう」といった不安を抱えながら育児に頑張る日々だったそうです。そうした経験から、同じ不安や悩みを持つ母親同士、「それで大丈夫だよと言い合えるような場」にしていきたいと話します。

畳が敷かれた会場には、授乳室やおもちゃ、絵本なども用意され、子ども達が思い思いに遊ぶ中、お母さんたち同志おしゃべりを楽しみ、笑顔を見せていました。

FemStyleは、この日取ったアンケートをもとに、「女性を元気にしていく活動をしていきたい」ということです。

クイズ 知っちゃっけ？

問い：世界を見ると、成人年齢に達した人を全国一斉に祝う、日本のような祭典を行う国はほとんどないそうです。日本では祝日にもなっている成人式ですが、成人式のルーツとなる出来事があります。それは次のどれでしょうか？

- ①江戸時代、成人が正月に晴れ着を送ってもらった風習
- ②明治維新のとき、人々が西洋化に大きく傾くことを警戒して開催した会
- ③戦後、次代を担う青年達に明るい希望を持たせ励ますため開催した会

答えはこの広報紙のどこかにあります。



西郷どんのお弁当で地域おこし



羽島地域の料理好きな女性7名で作る「フェザープリンセス」は、地元羽島産の食材を使用した弁当「せごどんのはしま弁」を作りました。

「西郷どん」の素朴さをイメージして作った弁当は、おこわと赤飯のおにぎり、羽島独特のがねと呼ばれる天ぷら、煮しめにかからん団子など10品ほどが入りボリューム満点です。

羽島には西郷隆盛が工事に関わったとされるため池の万福池や浜中港があり、「羽島に来たときはぜひ食べてほしい」と話しました。

この「せごどんのはしま弁」は予約制で当面は団体のみ受け付けるとのことです。

●問合せ 羽島交流センター ☎35-0014

児童へ図書を 歩行者に安全を



地元の焼酎銘柄のひとつ「海童」を応援する海童倶楽部と海童会が、12月22日、青少年育成と交通安全に役立ててほしいと、市立小学校9校と地区交通安全協会へ、図書購入のための寄付金と歩行者用反射材をそれぞれに贈りました。この活動は、今年で8回目となります。

寄付金と反射材は10月21日、22日にあったイベントで、会員が綿あめやかき氷を販売した収益の中から出したもので、海童倶楽部の上原博三会長、海童会の永井和之会長らが「青少年の育成に役立ててほしい」と教育長へ寄付金を手渡しました。

100歳おめでとうございます

迫喜内さん（迫）が12月1日に、また、今村ヒデさん（野元）が12月20日に、それぞれ100歳の誕生日を迎えました。お二人には、市からお祝いの生花や記念品が贈られました。

本市の100歳以上の方は、1月12日現在で31名です。いつまでもお元気で長生きしてください。



（迫 喜内さん）



（今村 ヒデさん）

お菓子食べて元気に



12月19日、障害や発達に特性のある子どもが放課後や冬休みなどに利用する放課後デイサービス事業を行う3つの事業所に、NPO法人光里の輪（曙町）から、お菓子やチョコレートなどが贈られました。

このNPOは、市内で太陽光パネル施工工事などを手掛ける吉永洋祐さんが、熊本地震をきっかけに立ち上げたもので、災害支援ボランティアや慈善活動に取り組んでいます。

この日は、「お菓子で子ども達に元気を与えたい」との趣旨に賛同した日本生命串木野支店や明治ホールディングスの協力を得て、お菓子を用意し、可愛いクリスマスの装飾が施された袋に入れ、事業所の関係者に手渡されました。

施設では子ども達が一足早いクリスマスプレゼントに喜んだとのことでした。

飯山コーチ指導する野球教室



北海道日本ハムファイターズを昨シーズンで引退した飯山裕志さんや鹿児島相互信用金庫野球部が、12月30日に、多目的グラウンドであった野球教室で市内の野球・ソフトボールスポーツ少年団の児童70名に指導しました。

飯山さんはキャッチボールでは「歩きながら投げるように」とか「ボールは下を向けて握る」など技術指導のほか、「一つのボールにチームで集中することが大切」と、野球に対する心構えも指導しました。

また飯山さんは「自分も君たちと同じように少年時代があった。プロの世界は遠い世界ではない。一生懸命頑張って目指してほしい」と激励しました。

飯山さん日ハム2軍内野守備コーチに

飯山さんは、現役時代は守備のスペシャリストとして活躍し、野球にひたむきに取り組む姿から同僚選手や多くのファンに引退を惜しまれました。来シーズンからは同球団の2軍内野守備コーチに就くことが決まっています。飯山さんは「現役はまっとうできた。若い選手に助言できたら」と今後は後進の育成にあたります。



羽島路を歩いた「れいめいウオーク」



12月10日、第20回れいめいウオーク羽島土川大会が開催されました。

今年は俳優の榎本孝明さんがスターターを務め、4kmから12kmの3コースに県内外から470人が参加し、つわぶきの花が沿道を彩る羽島路でウォーキングを楽しみました。

また、会場ではお楽しみ抽選会や地元の住民による特産品の販売や「おさんしゅい（おさ汁）」の振る舞いもあり、参加者に好評を得ていたほか「一首一句啓上コーナー」では参加者が大会の想い出や自然の景観を唄に詠む姿が見られました。

〈最優秀作品〉

いにしえの 西郷どん偲ぶ れいめい路
えなつ 隼（いちき串木野市内）

〈優秀作品〉

先人の 進取の気概 想いつつ
羽島のこみち 友と歩まむ
徳重 勉（住吉町）

☆むし歯0おめでとう☆

（5歳児歯科検診結果）

串木野健康増進センター（☎ 33-3450）
12月5日の5歳児歯科検診において、むし歯がなかったお子さんをご紹介します。

おおさこ 大迫	れいあ 滯空ちゃん	はぎこぼ 萩木場	ゆうり 伊侑里ちゃん
おつし 尾辻	こうた 康汰くん	ひがし ・東	あやめ 綾苺ちゃん
さいとう 齋藤	こうき 航季くん	まえだ ・前田	かおる 薫ちゃん
さかぐち 坂口	ゆうり 結優ちゃん	やまもと ・山元	ゆうり 悠理くん
てのくち 樋之口	ゆうか 優花ちゃん		

市では、乳幼児のむし歯予防に地域全体で取り組んでいます。
皆さんも、5歳児歯科検診でむし歯^{ゼロ}を目指しましょう！
☆ガガリつけの歯科医院をつくって、家族みんなて歯の健康づくりに取り組みましょう。

第12回いちき串木野市ロードレース大会



12月17日、串木野新港で第12回いちき串木野市ロードレース大会が、2月に行われる県下一周駅伝競走大会の日置地区選手選考会も兼ねて開催されました。

本市の主な成績は、次のとおりです。（敬称略）

- 小学校1～4年生男子の部（1.5km）

1位	仮屋 玲	串木野西陸上4年	5分34秒
3位	鮫島慎之介	羽島陸上 3年	5分53秒
- 小学校1～4年生女子の部（1.5km）

1位	勝田 乙葉	串木野西陸上3年	6分03秒
2位	神田 凜桜	生福陸上 4年	6分07秒
- 小学校5～6年生男子の部（1.5km）

2位	勝田 聖也	串木野西陸上6年	5分16秒
6位	亀崎 大夢	串木野西陸上6年	5分45秒
- 小学校5～6年生女子の部（1.5km）

1位	橋本 愛梨	串木野西陸上5年	5分34秒
5位	梶山 世来	羽島陸上 6年	5分57秒
- 中学校男子の部（3.0km）

2位	吉留 楽	生冠中 3年	10分03秒
4位	大六野 凜	生冠中 1年	10分14秒
- 中学校女子の部（3.0km）

4位	坂元 茉歩	串木野西中 1年	10分44秒
5位	鍛冶屋明華	生冠中 1年	11分11秒
- 一般男子（40歳代）の部（3.0km）

3位	隈元 武彦	いちき串木野市	20分37秒
----	-------	---------	--------

第37回秋季職域ソフトボール大会



12月10日多目的グラウンドで開催

- A級優勝 串樽
- B級優勝 海童ジャパンA
- C級優勝 串木野養護学校